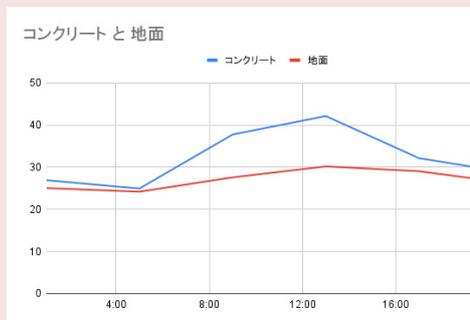


高さとコンクリートの温度変化の違い

日本大学藤沢高等学校 1年 齋藤 佳菜子

実験方法

コンクリートや地面に防水温度計を3日間設置し計測、研究しました

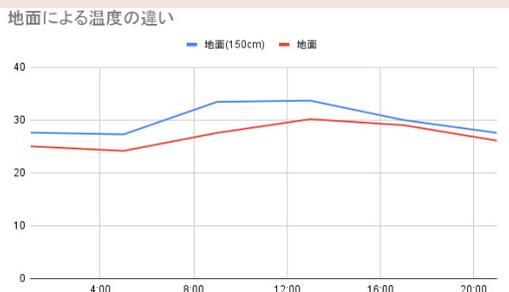
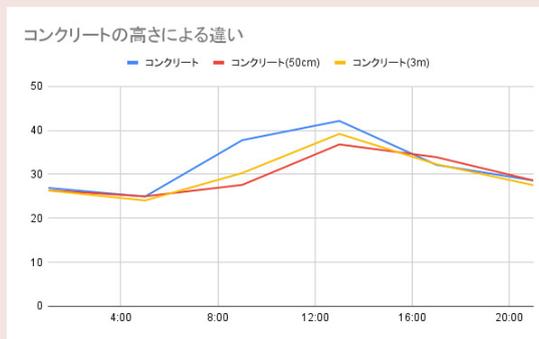


コンクリートと地面の温度の違い

コンクリートと地面の温度変化の違いをしらべた結果、コンクリートの方が温度が上がりやすく、下がりやすいことが分かった、さらに12:00頃に12度程違いが発生した。

コンクリートの高さによる違い

コンクリートの高さによる違いを調べた結果、コンクリート (0cm)が一番温度が上がりやすく、(50cm)と(3M)の間にはあまり大きな違いは見られなかった。

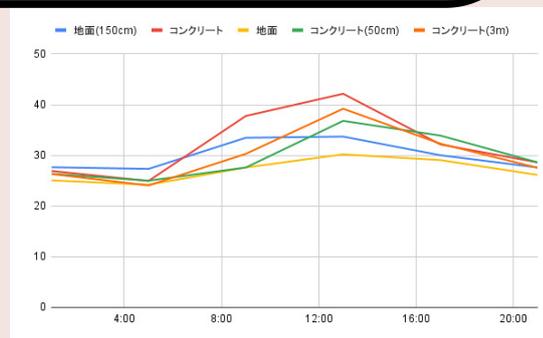


地面の高さによる温度の違い

地面の高さによる温度変化の違いを調べた結果、(150cm)の方が上がりやすく8:00あたりに一番差が大きくなった。

地面とコンクリートによる高さの違い

地面とコンクリートによる温度変化の違いを調べた結果、コンクリート (0cm)が一番温度が上がりやすく、逆に地面 (0cm)が上がりにくかった。



結論

これらの実験の結果、一番温度が上がりやすいのはコンクリート (0cm) ということがわかった。この最高温度である、12:00の約40°は長時間皮膚に触れていれば低温火傷をおこすほどの温度である。

使用した器具

SwitchBot 防水温度計